

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

特開平4-49965

⑥日本国特許庁(JP) ⑦特許出願公開  
 ⑧公開特許公報(A) 平4-49965

⑨Int. Cl.<sup>\*</sup>  
 A 61 H 3/04  
 A 61 G 5/00

種別記号 延内整理番号  
 9052-4C  
 9163-4C

⑩公開 平成4年(1992)2月19日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全9頁)

## ⑪発明の名称 延客者用の移動車

⑫特 願 平2-156151  
 ⑬出 願 平2(1990)6月13日

⑭発明者 井浦 忠 愛媛県松山市別府町172番地4  
 ⑮発明者 八家 一 愛媛県伊予郡松前町中川原888-8  
 ⑯発明者 金浦 新吾 愛媛県松山市保免上2-9-6  
 ⑰出願人 井浦 忠 愛媛県松山市別府町172番地4

## 明細書

## 1. 発明の名称

延客者用の移動車

## 2. 技術分野の範囲

本発明及び同属特許が開きがコ字状になるよう下部横コ字フレーム1の前側部分に前輪フレーム2を取付け、この前輪フレーム2の上部に上部横コ字フレーム3を取付け、前記上部横コ字フレーム3が四脚あるいは上下脚によって昇降操作可能で構成し、前記下部横コ字フレーム1の前側部近くに底フレーム1あるいは前フレーム3部に取付けられるキャスター部の取扱部数100、100を、また下部横コ字フレーム1の左右後方に延客側100、100を取付け、前記前側フレーム2あるいは上部横コ字フレーム3の昇降操作部分の左右両側に延客側が前側力動部面に取付するよう枢着されて延客側が外板上方から内板下方へ傾き回転する支脚270、270を大まかに説き、この各支脚の取扱部に椅子体280、280を取付けてなる延客者用の移動車。

## 3. 発明の詳細な説明

## 前車上の利用分野

この発明は、公共交通機関や歩行困難な老人が運行して歩行したり、椅子掛け状態で車椅子が運行されることのできる延客者用の移動車に関する。

## 発明性

従来、延客者用の歩行移動車として、平置板がコ字状をした複数の下脚部に左右、前後にキャスター脚部を取付けた構造のものがあり、このコ字状の脚部内に脚部を立てるあるいは脚部の底面に脚部を立てるものがあった。

## 発明が解決しようとする問題点

従来型の延客者用の歩行移動車は、延客者自身の体重を自分の脚力と肩で支えなければならず、自分で歩ける力が弱まる延客者や老人でないと使えない欠点があり、これを改良して車にコ字状の脚部の左右脚部から脚/足部で押したように左右脚から脚踏できる椅子を立てて車椅子で移動できたり、老人人が押して移動できる構成としてみたが、このような改良では、椅子掛け状態に

4-49965 (2)

なる場合に一旦、運営者が直立しなければならぬ  
が、ベットで椅子掛け状態になつても自身自身で  
歩行状態に参りて同じく椅子掛け状態になること  
ができない。

### 問題点を解決するための手筋

この発明は、構造の複雑な四輪駆動車の欠点を解消すると共に、これを普通に改良した普通車の欠点を解消するために、平田昌及び鶴見義が営みがこの車両になるよう下部側面フレーム1の前側部分に両側フレーム2を取付け、この両側フレーム2の上部に上部側面コ字フレーム3を取付け、前記上部側面コ字フレーム3が凹凸あるいは上下動によつて昇降操作可能に構成し、前記下部側面コ字フレーム1の前側近くに該フレーム1あるいは該フレーム2側に取付けられるキャスター型の駆動装置4の上、10レバ、本体下部側面コ字フレーム1の底本体方に取付け橋13、14を取付け、前記側面フレーム2あるいは上部側面コ字フレーム3の昇降操作部の左右両側に基部側が前後方向に駆動装置15により由動するよう組合されて該側面が昇降上

方から内側下方へ屈筋筋膜する支筋 27a, 27b を曳き出しえ。この筋支筋の後筋側に短子体 3a, 3b を取付けてなる障害者用の脚取車とした。

### 光場的作用及效果

この説明によると、歩行の困難を免へる間合せがベットから降りる筋勢である椅子掛け試験になつて、この筋勢から自分で移動車につかまって暴走したり、介助者で運行するときには、移動車をベットの前面に寄せ、頭部位置を取付けた下部構造のフレームの後部をベット下部に回らせて上部構造フレームの後部をベット上方に位置させる。そして、上部横ロゴフレームを下部ならしめておき、椅子体を取付けた左右の支柱を前面にセッテならしめて平面鏡に沿せる面部内に許被の椅子掛け姿勢になつた障害者が入り込むようにする。そして、左右側の上位に位置させていた椅子体と支脚の構造部材により床下を左右上方から拘うように頭を込む。このようにベットに椅子掛け筋勢になつたままで移動車の椅子体に頭を吸せ、次に

支輪が取付けられた前回フレームあるいは上部側コ字フレームの上部を上昇させるとバットから離れた子体が離着者が両手で引け引けにセッティングされて運行状態になり、且て床を蹴るようにすれば充分で移動でき、また介護者が移動車を押せば離着子に飲ませた状態で運行できる。又、移動車に搭載するだけで自分で自分で移動する本格的な椅子を離着者が人では子供体を左右側の上方にセッティングする。

毛詩傳

図1は精子採取下部に運動して精子回り可動

にした状態の側面図であり、第2圖はその背面図そして第3圖はその平面図である。第4圖は上面に並置する耐震台及び本体本体時の脱落装置等を重く荷重を取り外した平面図、第5圖は昇降の側面図、第6圖は作用を説明する平面図を示している。そして、この第1圖から第6圖で示した構成に基づき説述する。1は下部側面コ字フレームで、左側フレーム11、16の背面部分が前後壁フレーム12、14で取付けられている。2は前側フレームで、前側壁が前後下部側の左側面フレーム11、16の前面側面にラバケット15とピン4とを介して前後に開閉可能に取付けられた壁フレーム21、26の上部に上部側面コ字フレーム22を上下開閉可能に取付けている。即ち、この上部側面コ字フレーム22は前記本体壁フレーム21、26を構成するパイプ枠の内側に構造されて上下に開閉させてセットボルト6で上下開閉セッティングできる構造なり。7に開閉されている。そして、この上部側面コ字フレーム22の上部に前記の脱落装置及び本体本体時の使用装置等を重く荷重取扱装置8を設フレーム

卷四-49965 (3)

5に合致し立派な筋を広げに形成して筋書日本化している。私は感動深く思す。

100・100は軸動的軸で、並記左側フレーム2・3上に軸部を組合して軸端へ取付するアーム11・12に組合部面に凹部を各々サクスター部13を介して取付けられてゐる。

134、136は軽量版で、前記下部の左右板フレーム13、15の後端部に取付けられてゐる。

1 6 は油圧ロッドで、前記下部側の左右側フレーム 1 1 、 1 6 を連結した油圧用の連結フレーム 1 1 に面側の左右側プラケット 1 5 、 1 5 に別個に面側のピン 1 6 、 1 6 に面側板 1 7 、 1 7 を取付け、この面側板 1 7 、 1 7 と前記左側の横フレーム 2 2 、 2 2 とを連結している。そして、前記ヒンケル 1 6 、 1 6 に油圧ヘッド出する底座用ペブル栓 1 8 を取付け、このペブル栓 1 8 は底座板がかかるになっていて左側のピン 1 6 、 1 6 がこれに止って一様に固定締めされている。

トッパー部で、前記遮蔽フレーム10に面接の左右側ブリケット20、20に面接面にビン21、21を介し平版机コ字状ベテル22を取付け、このビニルアーム部に遮蔽部23、23を設け、前記遮蔽フレーム17、17に形成した遮蔽部24、24に遮蔽部23、23が保護できるように並べてある。23はスプリングを有す。

360°、または直角37°、27°を回転自在に操作する関節で、前記既フレーム3a、2bに取付けられた複数種3、4に、その関節中心底の四方延長部（イ）、（ロ）が内側に内向って互いに接するよう構成している。

そして、文部 270、271 は、同化 380、281 で文部をされた近くで裏屈筋がされ、この文部 270、271 の先端部に筋子体 280、381 を運営している。そして、この文部 270、271 を外方上加へ屈筋をせるとときにには第 3 回の枚筋になり、田原筋のようにな方下筋へ屈筋をせるとには第 4 回の状態になるよう構成している。

（上接第111頁）

29はプレーキ脚蹴で、前記両側フレーム2を後方側へ回転させる脚蹴に連動して転筋脚蹴13の回転を止めるようにしておる。具体的には、左右脚フレーム1、15は固定のグラケット30にピン01で回動する脚32を囲り、これにブレーキロッド33をピンで連結し、このロッド33の前後往復をフレーム1、15で運動自在に受け取て受け取て、このロッド33の往復が脚蹴13の外側に張り当たる構造にしている。そして、前記脚32と前記脚蹴13とセリシング(四点嚙合)で連結し、台蹴フレーム2を後方へ倒しているときに脚蹴13は、15が転動しないように制御している。

次に、上剤の作用を説明すると、ベッドAに階層者が床下掛け状態になり、ベットAの底面に下部脚コナフレーム1の脚部を重ねさせ、上部脚コナフレーム5がベットAの上側に位置するように移動車をベットAの側面に引き寄せる。

このとき、隊形は各歩兵連の平面二字状隊形内に入り込むようにする。これまでの操作にあた

っては、落ち葉において前側フレーム2を直立あるいは後方側へ倒したままの状態の状態とし、また、又横立2は、28レが部6面の実線の状態にしておく。したがって、椅子体2は、28レが左右両側に直立、かつ上部に位置するからペアトーンの上面に椅子体2は、28レが位置せず、また座面部に突き当たることなく座面にペアトーンの上面に上部側コチフレームを位置させることができること。

この状態で、前側フレームをを直立させてある場合には、ペナル2を踏み込み、底部開口2から底翼3をはずして前側フレーム2を底力側へ回し、を状態にする。

次に、実子体274、275を内側下方へ押忍させると、すると、母子体28a、28bがベットAの上面に倒産して弱々水平状態にならうとする。この状態で実子体28a、28bを障害者Bの爪下に置き込む。そして、イカルウチ16を第五脚の屈筋筋の状態から両脚状態に込み込み拘制フレーム22を起立させ母子体28がベットAの上面に

も解上させる。この状態が麻酔器の状態である。  
したがって、患者を手を離して簡単に移動可能  
に解消されることが可能である。

前記実験例は、前個フレーム2が前斜に回転してバットと上面に接触した棒球体26を高く弾上させる装置例について説明したが、次10回一組14回で示した実験例では、前個フレーム33・35を前斜のように貯能に回転させないで下單面ゴ字フレーム1の前斜に一体的に立消させ、この固定のフレーム33・35の上部に棒球を落して上下両面底部を衝突例36・38を取付け、この両斜面部36・38を並列斜面37で遮蔽している。そして、前記前斜フレーム33・35内にナット39を固定して、このナット38にボルト39を締合している。また、前記横板37内にはハンドル40で正、逆回転操作できる軸41を2個、この軸41にウォームギヤー42、43を回着し、前記ボルト39、38にこのウォームギヤー42、43を囲みをうウォームギヤー44、45、46を囲むハンドル40

韓國平4-49965 (4)

曲線操作で斜側フレームをもつ、3ミリを上下動  
スカラムに構成している。

このようにすれば、頭部側フレームをも、3基とも上部側コマフレームを取付けたぐるだけで、鏡子体26a、26bを直ちに完成でき、操作に免る。

4 项目管理与控制

第1図は開眼図、第2図は舌頭図、第3図は平頭図、第4図は一部を残す平頭図、第5図は算盤の頭面図、第6図は頭端平頭図、第7図は平頭図、第8図は作用状態を表す舌端斜頭図、第9図は作用を強調する舌頭図、第10図は舌頭の側面図、第11図はその一部を省略した平頭図、第12図は脣図、第13図は一方の喉子体を作成した状態の舌頭図、第14図は舌頭の側面図、第15図は舌の頭端と一部改良した場合の側面図である。

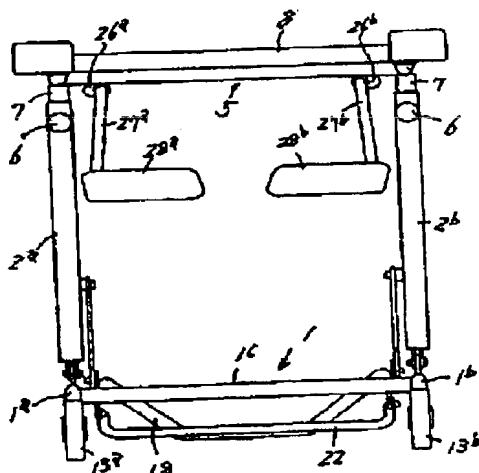
第六章

1は下部鋼コ字フレーム、2は前部フレーム、  
5は上部鋼コ字フレーム、10a、10bは船體  
舷側、13a、13bは船體舷側、27a、27b

### 新規出席人の氏名

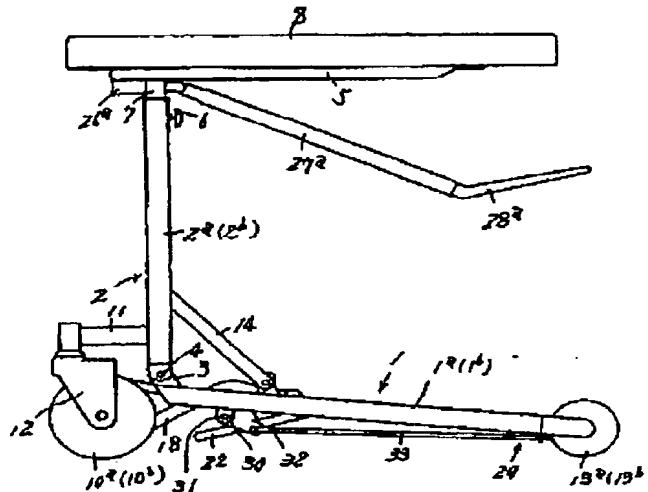
外 題

第2回

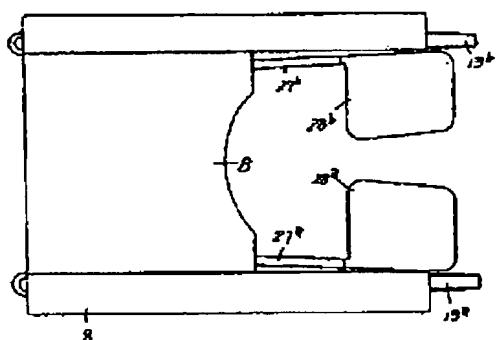


特電平4-49965 (5)

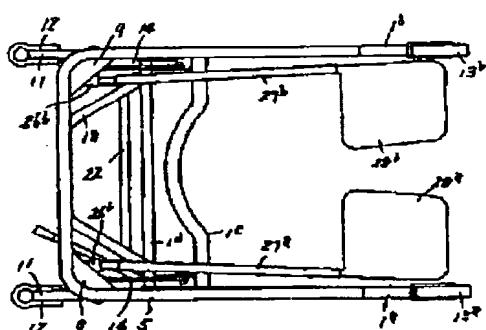
第1回



第3回

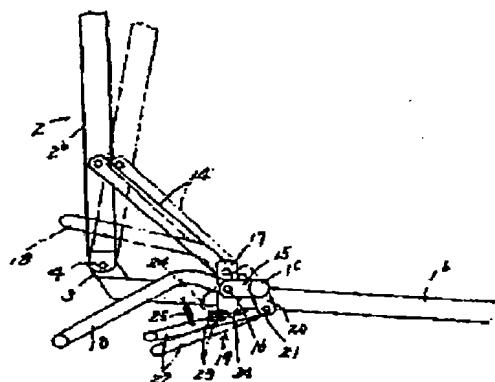


第4回

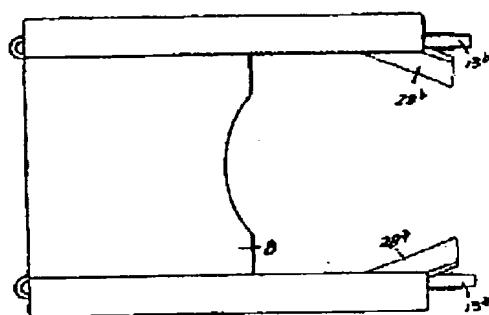


新嘉平4-19965 (6)

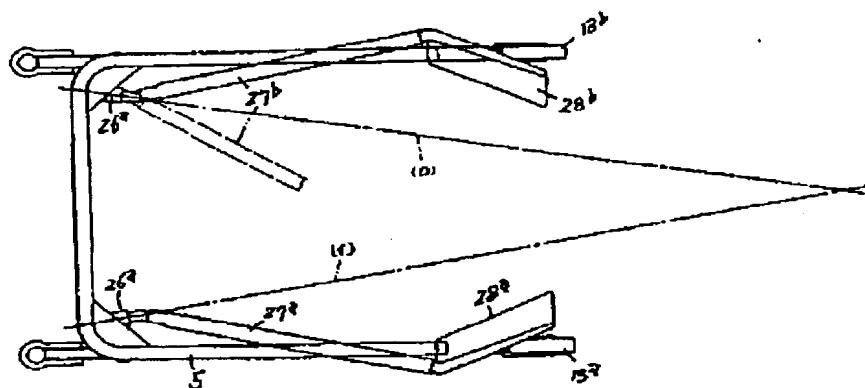
第5回



九

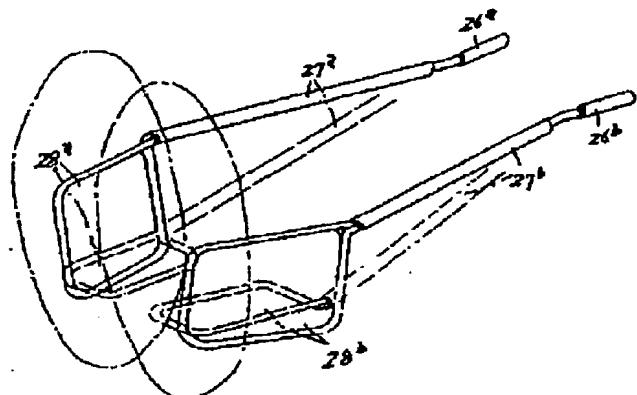


通志



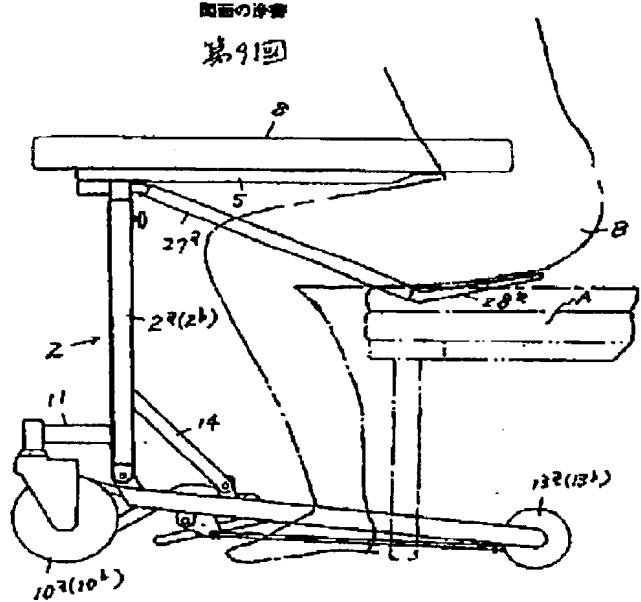
特許平4-49965 (7)

考証図



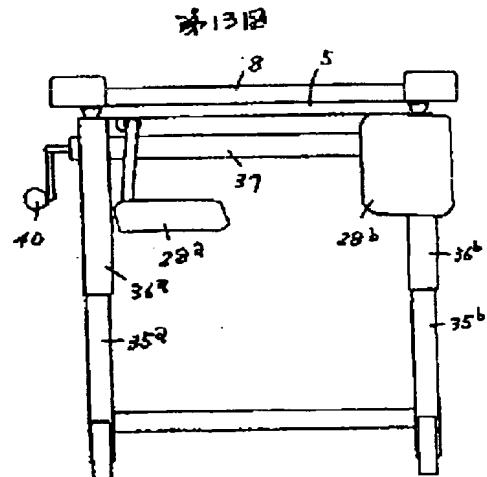
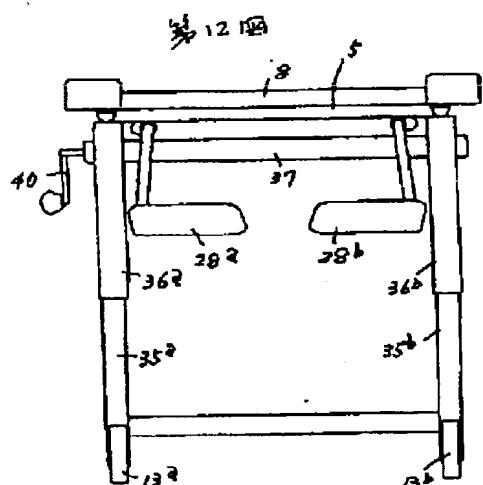
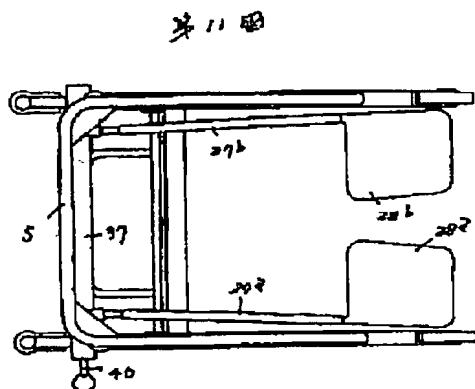
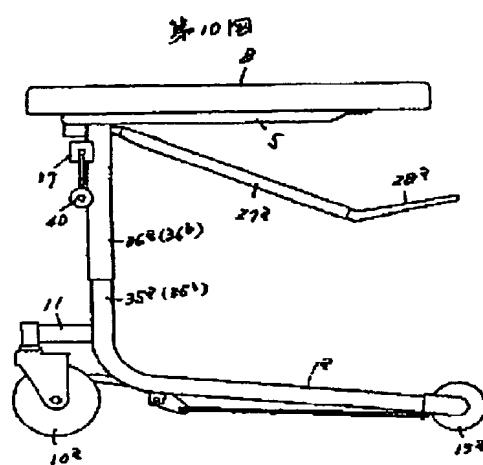
図面の説明

第91回

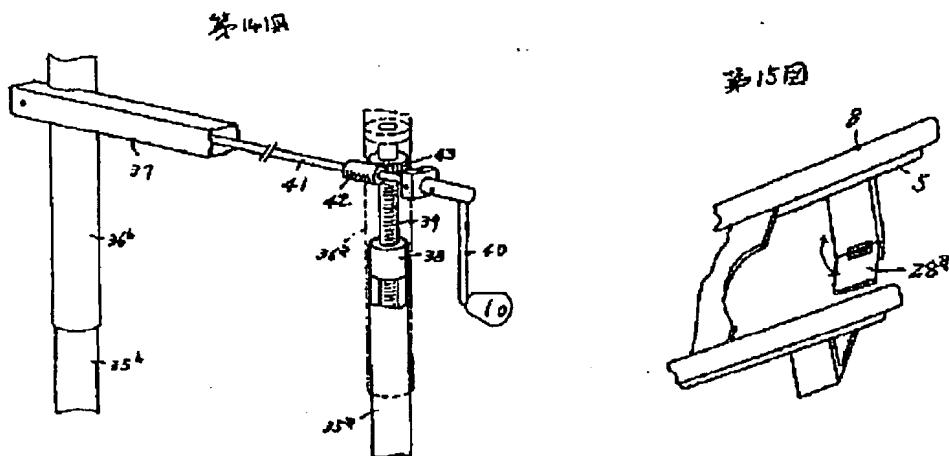


-937-

新阳平 4-49965 (8)



特開平4-49965 (9)



## 平成4年特許公報(方式)

平成2年6月14日

## 特許庁長官 命

## 1. 本件の名称



特開平2-156151号

## 2. 発明の名前

障害物用の警報装置

## 3. 補正をする者

車体との関係 特許出願人

車種名等 791

住 所 新潟県長岡市西新保町172番地4

氏 名 井 稲 忠

## 4. 補正命令の日付

平成2年6月13日

平成2年6月26日(発明日)

## 5. 補正の内容

図面(第9回)

## 6. 補正の内容

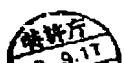
図面(第9回)を別添図面(第2回)の通りに補正する。

## 7. 本件の図面

(1) 図面(第9回)

1. 頁

草上



-339-

特開平4-49965

【公報種別】特許法第17条の2の規定による修正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成10年(1998)12月2日

【公開番号】特開平4-49965

【公開日】平成4年(1992)2月19日

【年通号数】公開特許公報4-500

【出願番号】特願平2-156151

【国際特許分類第6版】

A61H 3/04

A61G 5/00

【F1】

A61H 3/04

A61G 5/00

平成4年正月(改定)

特許庁長官  
平成4年正月(改定)1. 平成の改定  
平成2年特許法第160条の12. 平成の改定  
特許法第160条の13. 修正をする者  
中井との眞理  
特許出願人  
監査官  
他  
新潟県長岡市西田町1丁目1番地  
北  
高  
井  
理4. 修正の内容  
同和音の「新規の特許出願」の規

## 5. 修正の内容

(1) 前項第1項第2項第3項第4項第5項第6項第7項第8項第9項第10項第11項第12項第13項第14項第15項第16項第17項第18項第19項第20項第21項第22項第23項第24項第25項第26項第27項第28項第29項第30項第31項第32項第33項第34項第35項第36項第37項第38項第39項第40項第41項第42項第43項第44項第45項第46項第47項第48項第49項第50項第51項第52項第53項第54項第55項第56項第57項第58項第59項第60項第61項第62項第63項第64項第65項第66項第67項第68項第69項第70項第71項第72項第73項第74項第75項第76項第77項第78項第79項第80項第81項第82項第83項第84項第85項第86項第87項第88項第89項第90項第91項第92項第93項第94項第95項第96項第97項第98項第99項第100項第101項第102項第103項第104項第105項第106項第107項第108項第109項第110項第111項第112項第113項第114項第115項第116項第117項第118項第119項第120項第121項第122項第123項第124項第125項第126項第127項第128項第129項第130項第131項第132項第133項第134項第135項第136項第137項第138項第139項第140項第141項第142項第143項第144項第145項第146項第147項第148項第149項第150項第151項第152項第153項第154項第155項第156項第157項第158項第159項第160項第161項第162項第163項第164項第165項第166項第167項第168項第169項第170項第171項第172項第173項第174項第175項第176項第177項第178項第179項第180項第181項第182項第183項第184項第185項第186項第187項第188項第189項第190項第191項第192項第193項第194項第195項第196項第197項第198項第199項第200項第201項第202項第203項第204項第205項第206項第207項第208項第209項第210項第211項第212項第213項第214項第215項第216項第217項第218項第219項第220項第221項第222項第223項第224項第225項第226項第227項第228項第229項第230項第231項第232項第233項第234項第235項第236項第237項第238項第239項第240項第241項第242項第243項第244項第245項第246項第247項第248項第249項第250項第251項第252項第253項第254項第255項第256項第257項第258項第259項第260項第261項第262項第263項第264項第265項第266項第267項第268項第269項第270項第271項第272項第273項第274項第275項第276項第277項第278項第279項第280項第281項第282項第283項第284項第285項第286項第287項第288項第289項第290項第291項第292項第293項第294項第295項第296項第297項第298項第299項第300項第301項第302項第303項第304項第305項第306項第307項第308項第309項第310項第311項第312項第313項第314項第315項第316項第317項第318項第319項第320項第321項第322項第323項第324項第325項第326項第327項第328項第329項第330項第331項第332項第333項第334項第335項第336項第337項第338項第339項第340項第341項第342項第343項第344項第345項第346項第347項第348項第349項第350項第351項第352項第353項第354項第355項第356項第357項第358項第359項第360項第361項第362項第363項第364項第365項第366項第367項第368項第369項第370項第371項第372項第373項第374項第375項第376項第377項第378項第379項第380項第381項第382項第383項第384項第385項第386項第387項第388項第389項第390項第391項第392項第393項第394項第395項第396項第397項第398項第399項第400項第401項第402項第403項第404項第405項第406項第407項第408項第409項第410項第411項第412項第413項第414項第415項第416項第417項第418項第419項第420項第421項第422項第423項第424項第425項第426項第427項第428項第429項第430項第431項第432項第433項第434項第435項第436項第437項第438項第439項第440項第441項第442項第443項第444項第445項第446項第447項第448項第449項第450項第451項第452項第453項第454項第455項第456項第457項第458項第459項第460項第461項第462項第463項第464項第465項第466項第467項第468項第469項第470項第471項第472項第473項第474項第475項第476項第477項第478項第479項第480項第481項第482項第483項第484項第485項第486項第487項第488項第489項第490項第491項第492項第493項第494項第495項第496項第497項第498項第499項第500項

-1-